

3. 講義メモ

① は 石けん をつくる反応と 燃料をつくる反応が 同時にあまっている、
反応を制御するために エタノールと アルカリの量を変える、

② エタノールを変えることによって 燃料をつくる反応を 促す。

③ アルカリを変えることによって 石けんをつくる反応を 促す。

・ バイオディーゼルの 温度が低いと 固まってしまうため、凍結防止が必要。

・ バイオディーゼルについての 情報 が 世間 には まだまだ 認知 されておらず、利用されている割合が 少ないことが 課題。

・ 外国では 大豆などの 食物 を利用して バイオディーゼル を 効率よく つくっているが、日本では、廃食用油 が ほとんど という 問題。

それぞれの 国で 利用されている バイオディーゼルの 割合 の ちがいに について。

4. 感想

私たちの生活を支えている燃料は、以外と身近にある油とアルコールから
つくることができると知ってとても驚きました。触媒があるおかげで、
生成・反応がスムーズに進むのだと改めて実感しました。条件を少し
変えるだけで、生成されるものが石けんに変化したり、純度が変わるた
りしていて、まだまだ見つかっていない方法があるのかなと思いました。そして、
私も新しい方法や、見つかっていない反応などを探してみたいと思いました。
今回学んだことや経験を、将来に活かせるようになりたいです。